

第2回四日市港カーボンニュートラルポート協議会 開催結果概要

1 日時

令和4年11月15日（火） 13:00～15:00

2 場所

四日市港ポートビル2階大会議室（WEB併用）

3 議事概要

- ・新規委員として、経済産業省中部経済産業局の加入を承認した。
- ・事務局から、スケジュール、第1回協議会での意見を受けての対応、アンケート・ヒアリング結果の概要、四日市港のカーボンニュートラルに関する強み・弱みについて説明した。また、「四日市港CNP形成計画（骨子案）」について説明し、次回協議会において、「四日市港CNP形成計画（案）」を提示することとした。
- ・四日市コンビナートのカーボンニュートラル化に向けた検討委員会に関する報告や、「四日市港CNP形成計画（骨子案）」の具体的な記載内容について意見交換を行った。

4 主な意見概要

- ・ターミナル内で使用する電力が再生可能エネルギーあるいは、カーボンゼロであることを目指すなかで、燃料を水素や、アンモニアなど具体的に決めていく過程において、バイオマス燃料が四日市港の強みなのであれば、次世代エネルギーの選択肢の一つとして考えていく必要がある。
- ・計画策定後の協議会で、進捗管理・評価を行っていくのであれば、目標値を数値で示した方が分かりやすい。例えば、進捗度を割合で示す等、進んでいる部分、進んでいない部分を客観視可視化してはどうか。
- ・ロードマップについては、エネルギーの転換過程に合わせて取組が進んでいくことがわかるような記載としていく必要がある。
- ・ブルーカーボンの生態系も非常に重要である。既存の吸収量の算定等も重要だが、さらに発展する可能性も試算できると良い。
- ・四日市港は、エネルギー企業の集積という強みがあるため、エネルギー拠点としての強みを生かしていくことが必要。CNPの形成は、港湾のみで実現できるものではなく、企業間の協力関係も必要である。取組の実施主体に対して、具体的な指標、ガイドラインを示すことが重要である。